

授業 科目名	【G】	民法(総則)Ⅱ	区 分  選 択	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	民法(総則)Ⅱ			【H】2		【H】2	
	【I】	民法(総則)Ⅱ			【I】2		【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	民法総則のルールとしくみを学ぶ				担当者	関 義央		
授業概要	【概要】	民法において骨組みと言える「総則(民法1～174条)」についてのルールとしくみを学ぶ。 本科目は同一教員(関)による前年度後期開講科目「民法(総則)Ⅰ」で講義した民法総則の前半部分(法律行為まで)の内容の理解を前提に、総則の後半部分、「法人」、「代理」、そして「時効」を中心に学んでいく。						
	【到達目標】	1. 民法総則のルールとしくみについて理解し、他者に説明できる。 2. 裁判で実際に問題となった事例を参考に、法の解釈・適用ができるようになる。						
履修条件	①「民法(総則)Ⅰ」の単位を修得済みであること。「民法(総則)Ⅰ」の単位未修得者による履修登録は開講後に削除する。※ この科目の履修登録が削除されても、他の科目を追加登録したり、その分の単位数を後期科目の履修登録に使うことはできません。 ②他の教員が担当した「民法(総則)Ⅰ」とは連続性がない。その点を十分に理解した上で履修登録を行うこと。 ③授業運営や成績評価方法などの詳細を説明するので、初回授業に必ず出席すること。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	①「民法概論」の単位を修得済みであることが望ましい。 ②この科目の履修後、またはこの科目と並行して以下の各科目を履修することが望ましい。 「民法(物権)」「民法(担保物権)」「民法(契約)Ⅰ・Ⅱ」「民法(不法行為)」「民法(債権総論)Ⅰ・Ⅱ」							
教科書	永田眞三郎＝松本恒雄＝松岡久和＝横山美夏『民法入門・総則[第5版補訂版]エッセンシャル民法1』(有斐閣、2023年 ISBN978-4-641-18463-3) 令和8年版の小型六法(出版社は問わない。判例付きでなくてもよい)							
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。							
評価方法	学習到達度確認テストの成績(60%)とレポート課題(40%)により総合評価する。 ただし、ほかに課題・小テストによる成績を加味する場合もある。詳細は初回の授業で説明する。							
フィードバック 方法	教員が採点・評価したテストやレポートを返却する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、その背景や理由等も理解した者については「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者については「S」または「A」とする。単元の内容についての理解が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、所定の出席要件を充たさないなど評価不能の場合には「F」とする。							

授 業 科目名	【G】	民法(総則)Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	民法(総則)Ⅱ	選 択		【H】2		【H】2
科目名	【I】	民法(総則)Ⅱ			【I】2		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス・「民法(総則)Ⅰ」の復習						
	予習:	教科書第1、3、6、8各章の再読(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
2	代理①総説						
	予習:	代理の存在理由を調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
3	代理②有権代理						
	予習:	代理権の濫用について調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
4	代理③無権代理						
	予習:	無権代理人の責任について調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
5	代理④表見代理						
	予習:	民法の表見代理の類型について確認する(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
6	法人①総説						
	予習:	法人の存在理由を調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
7	法人②内部関係						
	予習:	一般社団・財団法人の機関について調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
8	法人③外部関係						
	予習:	法人が不法行為責任を負う場合を確認する(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
9	条件・期限						
	予習:	停止条件と解除条件の違いを調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
10	物						
	予習:	不動産と動産の民法上の違いを調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
11	期間・時効①取得時効						
	予習:	所有権取得時効の要件について調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
12	時効②消滅時効						
	予習:	債権消滅時効の要件について調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
13	時効③共通原則						
	予習:	時効の援用権者は誰か調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
14	私権行使の原則						
	予習:	信義誠実の原則(信義則)とは何か調べる(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
15	授業の総括						
	予習:	授業中理解できなかった点の確認(2時間)		復習:	授業内容について整理する(2時間)		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面授業であっても、Google Classroom といったWeb上のシステムを活用する。</li> <li>・対面授業の場合、携帯電話(スマートフォン、タブレットも含む)は電源を切るか、マナーモードにすること。</li> <li>・対面授業の場合、私語は厳禁。悪質な場合は退室を命じ、以後の受講を認めない。</li> </ul>						